

美浜町介護保険運営協議会（会長・大越扶貴 三重県立看護大学教授）が昨年6月から検討を続けてきた「美浜町第5期介護保険事業計画及び老人福祉計画」がこのほどまとめ、山口町長に答申されました。

この計画は、町の介護保険事業や高齢者福祉施策の今後の方向性を示したもので、実施期間は平成24年度から26年度までの3か年となっています。

※お問い合わせ先
町福祉課（担当・山口）☎ 32-6704



山口町長に答申結果を報告する大越運営協議会長

「誰もが安心して暮らせるぬくもりとふれあいの町」を目指して

第5期介護保険事業計画及び

老人福祉計画を策定

計画策定の背景

現在、日本では高齢化が進行しており、美浜町でも高齢者（65歳以上の人）の人口は増加しています。平成18年は3,145人だったのに対し、平成23年は3,202人、ピークの平成30年には3,510人になると予想されています。

人口に占める高齢者の割合（高齢化率）も年々伸びており、平成18年の28.0%が、平成23年は30.2%、平成35年には37.7%に達すると予想されています。

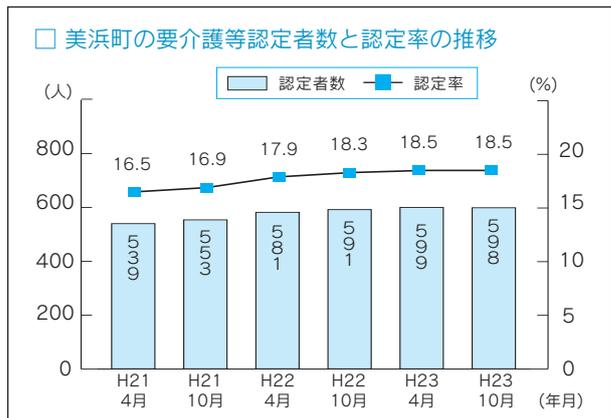
介護保険利用者も増加

介護保険サービスを利用している要介護等認定者の数も増加しています。平成21年4月の利用者は539人でしたが、平成23年10月には598人となり、2年半の間に59人増加しました。

また、この間、認定率（介護保険



の認定を受けている高齢者の割合）も、16.5%から18.5%に上昇しています。なお、平成23年4月の町の認定率は18.5%で、国平均値17.5%と県平均値17.2%を上回っています。



計画のポイント

本計画は、「介護保険事業計画」と「老人福祉計画」を一体的に策定することで、介護保険と福祉サービスを総合的に展開することを目的としています。

第5期の計画を策定するにあたりポイントとなったのは、高齢者が可能な限り住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように、「地域包括ケア」を推進することです。地域包括ケアの実現には、介護、予防、医療、生活支援、住まいの5つのサー

ビスが、切れ目なく一体的に行われる必要があります。

町民や現場の意見を反映

町では、計画の策定に向けて、学識経験者や医療・福祉関係者、町民等で構成される「美浜町介護保険運営協議会」を設置し、協議を重ねてきました。

また、策定の過程では、現状分析だけでなく、町民を対象としたアンケート調査や介護福祉現場とのワーキング会議を実施し、町が取り組むべき重点事項を整理しました。

元気で活動的な85歳を目指して

策定した計画の基本理念は、「誰もが安心して暮らせるぬくもりとふれあいの町」で、その体系は左表のとおりです。

計画では、「認知症についての啓発による早期発見と支援の充実」を特に重点項目としており、次のことに取り組むとしています。

- ① かかりつけ医、事業所、町民、地域による早期発見
- ② 認知症に関する出前講座の実施
- ③ 認知症サポーター養成講座への参

加促進

- ④ 高齢者への認知症健診の検討
- ⑤ 地域で支えるネットワークづくり（すまいる活動の推進）

今後、町では、この計画の達成に向け、地域住民や関係機関と協働で各種施策を推進していきます。そして、「元気で活動的な85歳」をこの町の高齢者像とし、高齢者が地域づくりの一役を担うことで、生きがいを持っていきいきと生活できるまちづくりを進めていきます。

計画の体系

基本理念

誰もが安心して暮らせる
ぬくもりとふれあいの町

[基本方針]

いつまでも自分らしく
生きられるまち

[基本的方向性]

住み慣れた地域でいきいきと暮らす取り組みの推進

住み慣れた地域で自立生活を支えるサービスの充実

若年期からの継続的な介護予防の推進

介護が必要になっても
安心して暮らせるまち

医療ニーズが高い要介護者を在宅で支えるしくみづくり

介護サービス利用の適正化

☆重点項目☆
認知症についての啓発による早期発見と支援の充実（すまいる活動の推進）

介護サービスの充実と質の向上

介護給付の適正化

地域でお互いに
支えあって生きるまち

地域で支えあう意識と体制づくり

地域活動の活性化

介護者への支援

美浜町 第5期
介護保険事業計画及び老人福祉計画
平成24年度～平成25年度



平成24年5月
美浜町

計画の概要版を、5月に全戸配布しますのでご覧ください。